



天茶つ子

2025年7月17日(木)

天下茶屋小学校

校長 清原良一

安全で有意義な夏休みを

本日まで保護者の皆様や地域の皆様の多くのご支援とご協力のおかげで、大きな事故もなく、計画していた教育活動を終えることができました。心より感謝申し上げます。明日から、いよいよ子どもたちにとって楽しみな夏休みが始まります。夏休みは、今までの学習や生活を見直す絶好のチャンスです。また夏休みは「学校を離れ、家庭や地域で学ぶ期間です。」

今年は大阪の舞洲で万博が開催され、1年生から4年生はすでに遠足で行きました。5年と6年生は9月に行く予定です。色々な報道やSNSではネガティブな面を強調されがちですが、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマで未来を切り拓くため最先端の技術が持ち寄られています。この話を聞くと私はよくエジソンの「天才とは、1%のひらめきと99%の努力である」という言葉を思い出します。通説は「天才とはいえ、やはり努力を怠らなかつた結果、成功する」という話です。しかし真意はそうではないらしいです。「1%のひらめきが大切であり、1%のひらめきを湧かすために、必要なのが努力である」というのが真実らしいです。彼は白熱電球の発明で、1万回の失敗が続いた際、友人には「1回も失敗なんかしてないよ。上手くいかない方法を1万も見つけたんだ」と語っているそうです。子どもたちには「頑張ってね」「とりあえず失敗しもいいからやってみよう」と励ましのつもりで声をかけることがあります。しかし果たして子どもたち自身が何のために頑張らないといけないか、失敗を糧に次に生かせるか、理解することの大切さを私自身考えさせられました。夏休みは子どもたちが考えた通りに自主的に時間を使うことができます。継続して長期的に何かに取り組んだり、今年の夏はこれをやりきったと堂々と語れるような過ごし方をしてほしいです。成長するための失敗を通して、学びの多い夏にしましょう！

はじめて小学生を持つ保護者の皆様には、大変な1学期ではなかつたでしょうか。子育ては誰でも無免許運転です。それなのになぜこれまでの親は子育てができたのか。実は子育ての予習の機会があったからです。自分が子どもだったとき、自分より小さな子どもを世話をしていたのです。しかし最近では無免許運転であるだけでなく、子育ての予習ができていません。ですから当然、親御さんが子育てに悩むのは当たり前なんです。しかも子育てに正解はありませんし、子育てのマニュアルもありません。昔から子育ての文化は家庭だけでなく、共同体の中で共有されてきました。ついこの間まで子育てされる側でしかなかつた子どもも、数年たてば近所に生まれた赤ちゃんと出会っていました。その赤ちゃんに触れながら子育てをする大人の真似をすることができました。今は共同体が崩壊し、核家族化・少子化という時代を迎えています。そのために多くの保護者の方々が子守をする経験がほとんどないまま子育てをしているのです。うまくいかなくて当たり前ですし、することやること初めてのオンパレード。共同体があった時代とは比べ物にならないほどのプレッシャーに慣れそうになりながらお子さんを育てられています。心理学では「育てる」は「素立てる」ともいいます。「素」を見つけ出して、それを「立ててあげる」これが子育ての原点です。「素」というのは個性です。「素(個性)」を見つけて立ててあげてください。すべて原点は「素(個性)」なのです。8月25日元気に登校してくるのを楽しみにしています。